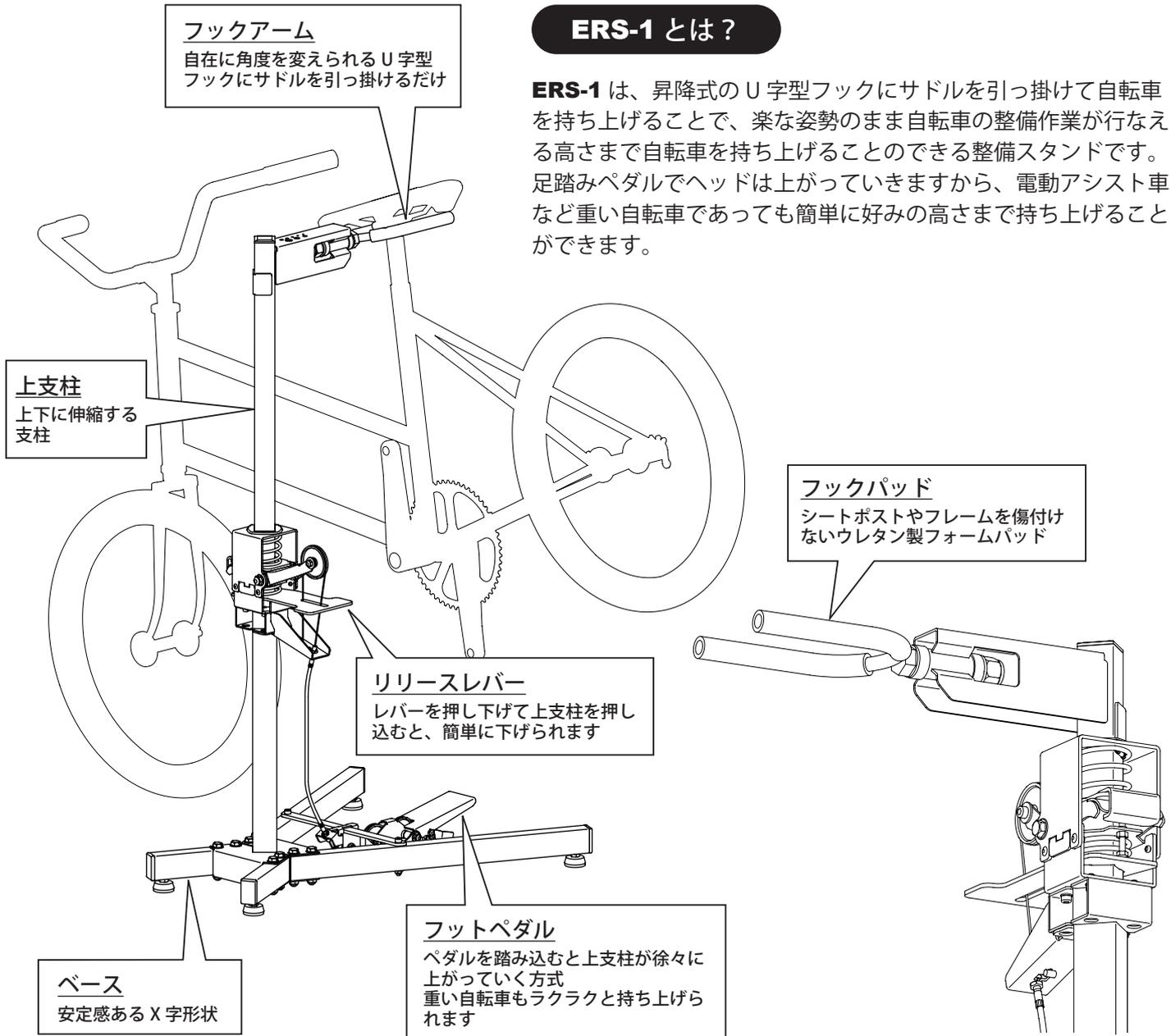


## ERS-1 とは？

ERS-1 は、昇降式の U 字型フックにサドルを引っ掛けて自転車を持ち上げることで、楽な姿勢のまま自転車の整備作業が行なえる高さまで自転車を持ち上げるのできる整備スタンドです。足踏みペダルでヘッドは上がっていきますから、電動アシスト車など重い自転車であっても簡単に好みの高さまで持ち上げることができます。



## 注意していただきたいこと

- 水平で平坦な床面・地面の上でお使いください。
- 搭載できる自転車の最大重量は 30kg までです。
- U 字型フックはサドルを受けているだけで、保持・固定しているわけではありません。大きく揺れる、人がぶつかるなどの拍子で外れて脱落してくることがあります。
- 必ず前輪が床面に接した状態でご使用ください。自転車を完全に宙吊りにすることはお勧めできません。そのため車輪を取り外した状態では自転車の安定性がひどく損なわれますので、その状態での使用はできません。

## お問い合わせ先

修理や故障のご依頼の場合は、添付の製品保証規定をよくお読みになった上で、まず最初にお買い求めになったショップにご相談ください。

## 株式会社 箕浦

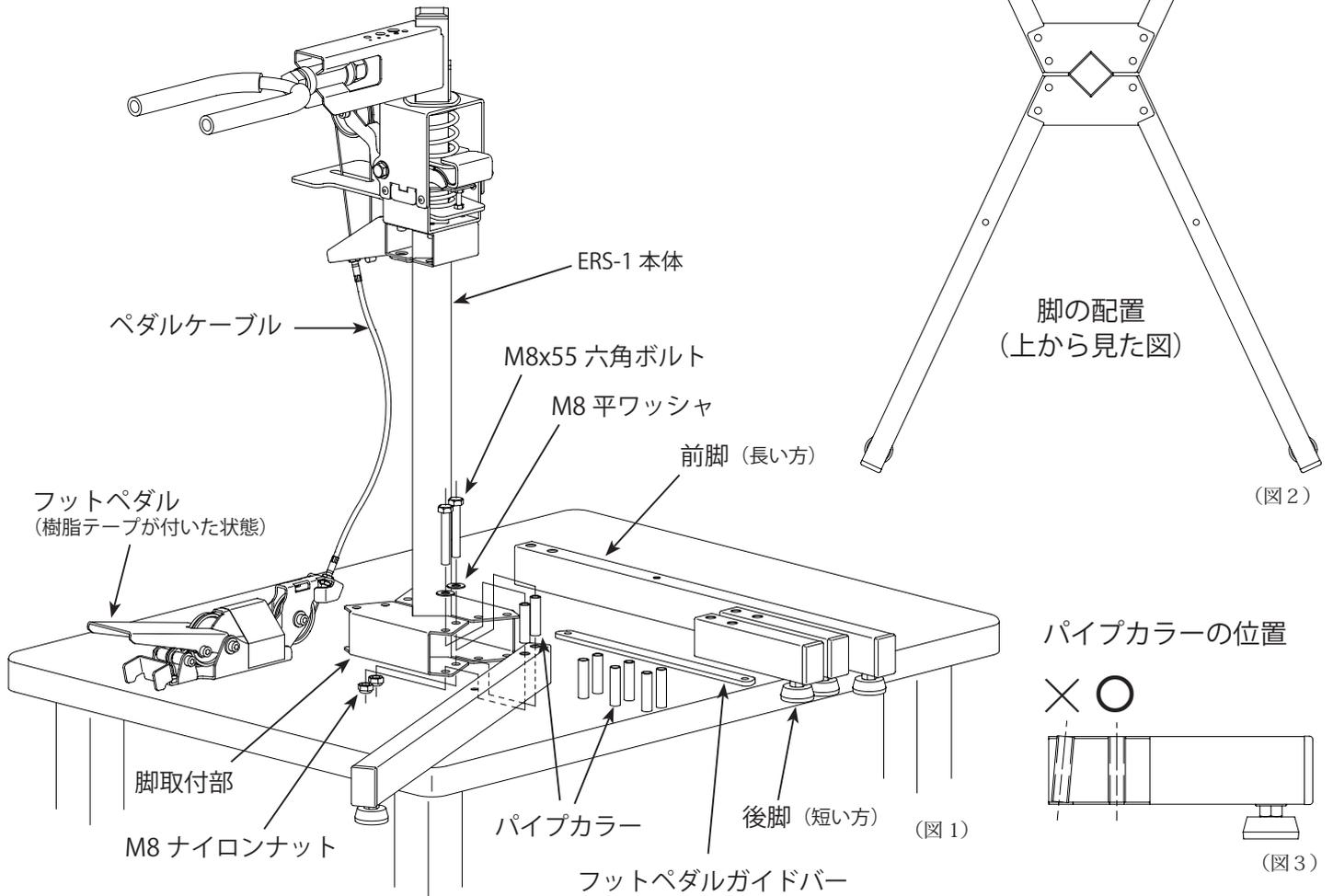
〒503-2312 岐阜県安八郡神戸町下宮 134-1

Phone (0584) 27-3131

Fax (0584) 27-7505

Email infodesk@minoura.jp (カスタマーサービス) minoura@minoura.jp (営業)

Web www.minoura.jp

**1** 前脚と後脚とを取り付けます。

ERS-1 本体は半組み立て済みです。まずは脚を取り付けていきます。(図1)

(床の上では作業がしにくくまた姿勢が悪いと腰を傷めてしまうおそれがあるため、図1のようにできるだけ作業台の上などに載せて作業を行なうことを勧めます)

まずは本体下端のボックス状の脚取付部に前脚（長い方）を左右に取り付けていきます。

角パイプ製の脚に2つあいている孔は、上側が径が大きく下側が小さくなっています。パイプカラーは大きい方から挿入します。

このパイプカラーは、ボルトを締め込んでいったとき脚パイプが潰れてしまわないようにと補強材として入れてあるものです。必ず使用してください。

脚パイプの中でパイプカラーが傾いているとボルトが通せなくなってしまいますから（図3参照）、傾かないように注意しながらボルトを通して行ってください。

脚パイプを脚取付部に差し込み、上から M8 平ワッシャを通した M8x55 六角ボルトを通し、下から M8 ナイロンナットをねじ込みます。

ボルトとナットに 13mm スパナを掛け締め付けます。  
最後に増し締めしますから、まだ仮止め程度で構いません。

脚を4本とも図2のように X 字型に取り付けていきます。

**TIPS**

ナイロンナットとは、緩み止め用に樹脂製のリングを内蔵したナットのことです。その部分はドーム状になっているのが特徴です。ボルトはこのドームとは反対側からねじ込みます。貫通したボルトのネジ山が樹脂リングにより締め付けられることで緩み止めになります。指でねじ込んだだけでは、ボルト先端が樹脂リングに当たったところでそれ以上ねじ込めないよう固くなってしまいますが、そこが終わりではありません。必ず適切な工具を使って更にねじ込んで行ってください。

**!** 六角ボルトを締め付けると、ボックス状の脚取付部は潰れて脚パイプにぴったりの寸法に変形します。そのため一度取り付けした脚を取り外してもう一度装着するのは非常に困難になりますので、再梱包などやむを得ない場合を除いては脚を取り外そうとはしないでください。

## 2 フットペダルを取り付けます。

まずガイドバーをフットペダル上部の四角孔に通します。フットペダルは邪魔にならない位置に左右に移動させることができるようになっています。(図4)

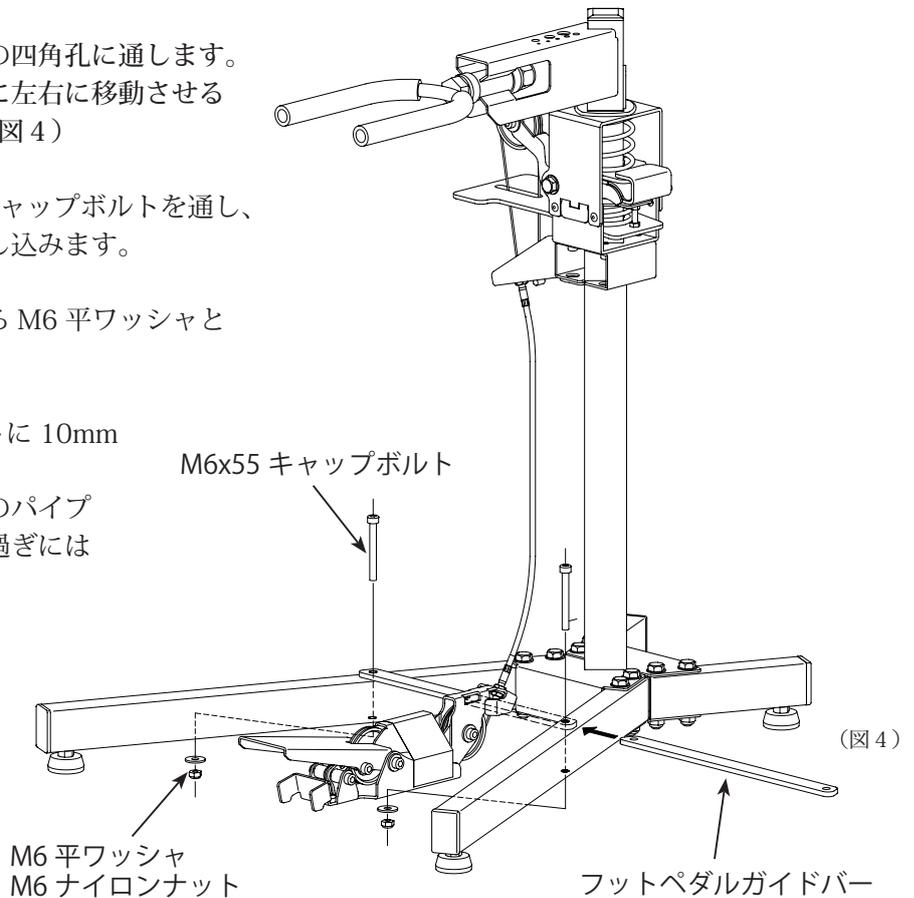
ガイドバーの端にある孔に M6x55 キャップボルトを通し、それを前脚の中央部分にある孔に差し込みます。

脚パイプを貫通したボルトを下側から M6 平ワッシャと M6 ナイロンナットで保持します。

ボルトに 5mm 六角レンチを、ナットに 10mm スパナをあてがい締め込みます。ここには脚パイプの潰れ防止のためのパイプカラーはありませんので、締め込み過ぎには注意してください。

## 3 増し締めします。

使用中に緩んだりすることがないように、脚のすべてのボルトを増し締めします。

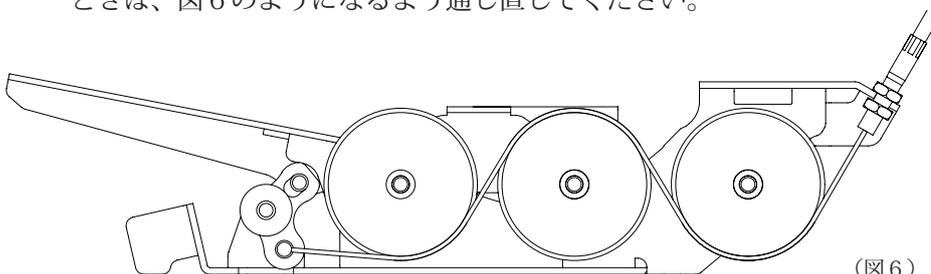
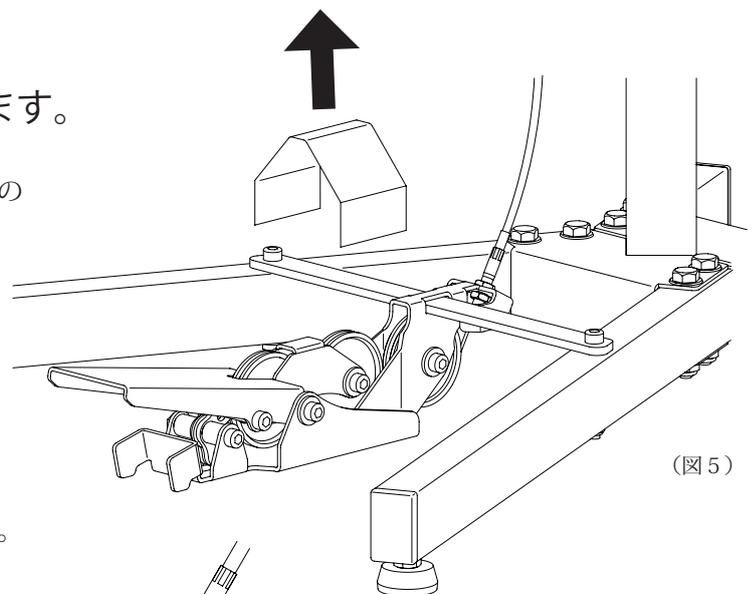


## 4 オレンジ色の保護テープを取り外します。

フットペダルのプーリー部分を覆っているオレンジ色の保護テープを取り外します。(図5)

テープは、輸送中にケーブルがプーリーから外れてしまわないようにと仮に取り付けてあるものです。

もしプーリーからケーブルが外れてしまっているときは、図6のようになるよう直し直してください。



## ERS-1 の使い方

### 支柱の上げ方

フットペダルを踏み込むと、上支柱が少しずつ上っていきます。(図7)  
踏むのをやめるとその高さで保持されます。

#### < U字型フックのストローク範囲 >

床面からフックの中心軸までの高さで  
640mm ~ 1,040mm

⚠️ ペダルを踏みっぱなしにしても、支柱は一気には上がっていきません。

⚠️ ペダルは支柱がまだ伸びる余裕のあるとき  
しか踏み込めません。  
支柱が上限いっぱいになってしまっている  
ときには、ペダルはそれ以上踏めないよう  
になっています。

#### TIPS

ERS-1 は重量のある電動アシスト車を想定した仕様  
にしていますが、お使いになる自転車が軽量なもの  
ばかり場合はそれでは少しペダルや上支柱の動きが重  
過ぎると感じられることがあるかもしれません。  
これらの操作は少し軽くすることができます。  
調整のしかたにつきましては弊社まで直接お問い合わせ  
ください。

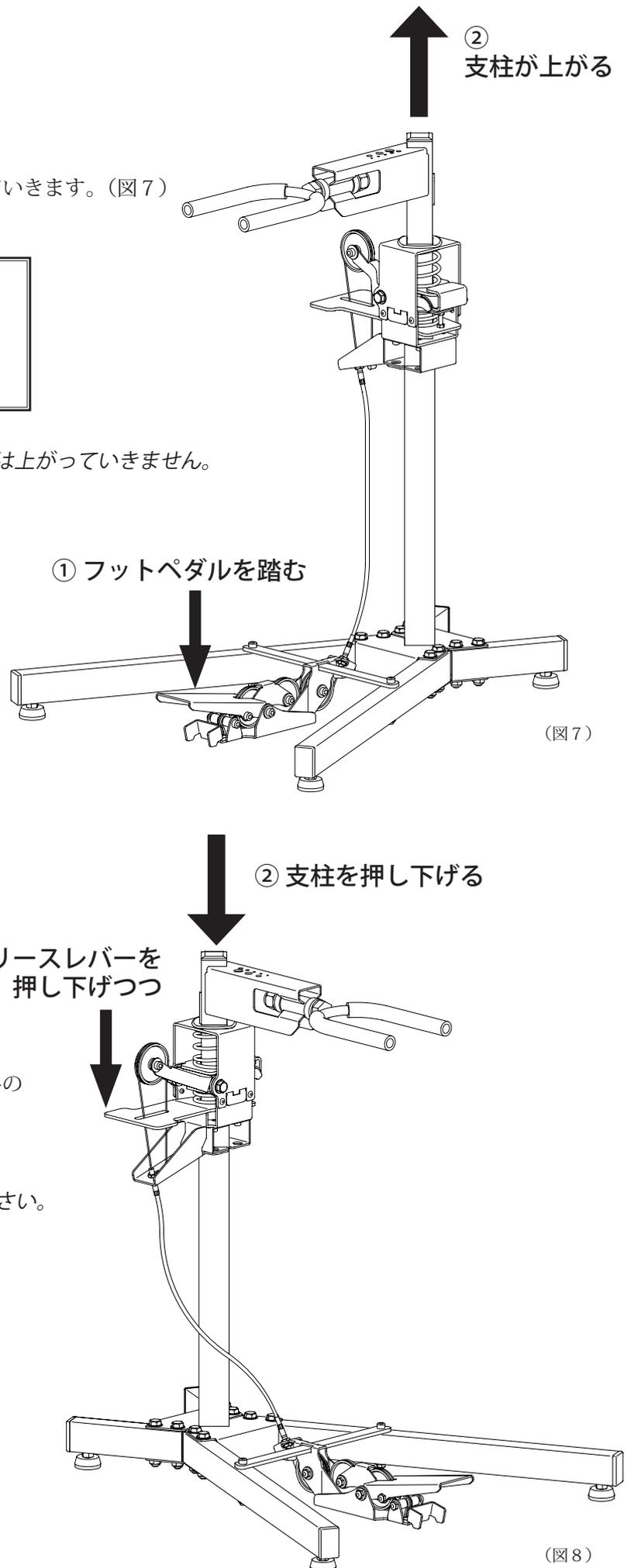
### 支柱の下げ方

リリースレバーを押し下げたまま、上支柱の上端を手の  
ひらで押し下げると下げられます。(図8)  
レバーを離すとその位置で保持されます。

⚠️ 指などを挟んでしまわないように注意してください。

### 持ち運ぶときの注意

⚠️ 上支柱だけを持って ERS-1 を持ち上げようと  
しないでください。  
上支柱だけが一気に上がっていき  
危険です。  
ERS-1 を持ち運ぶ際は、必ず下支柱側だけを  
両手で持つようにしてください。



## 自転車の持ち上げ方 2通りあります

- 1** まず上支柱をいっぱいに下げてください。  
U字型フックがサドルよりも下になっていることを確認します。

**2** ●セットのしかた～その1

ERS-1 を固定しておき、自転車の方を動かす方法

U字フックの内側に自転車のシートポストを入れます。(図9)

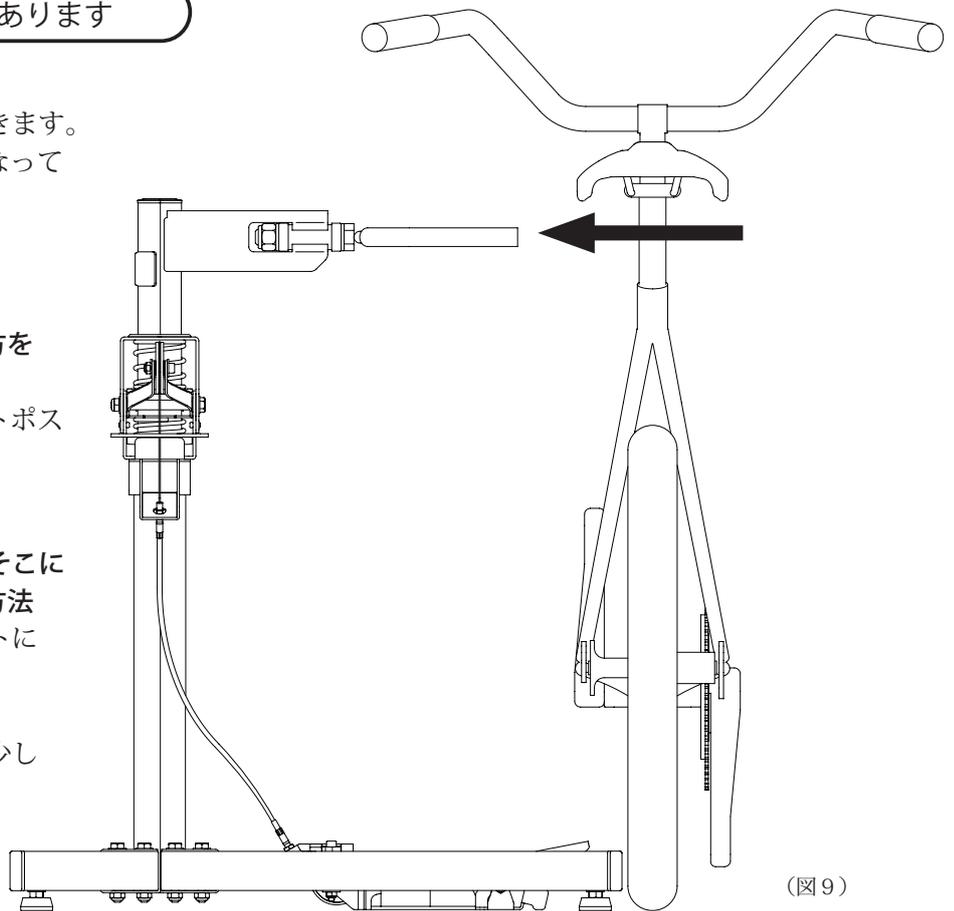
●セットのしかた～その2

自転車をスタンドで立てておき、そこにERS-1の方をずらしてセットする方法

立てておいた自転車のシートポストにU字フックを差し込みます。

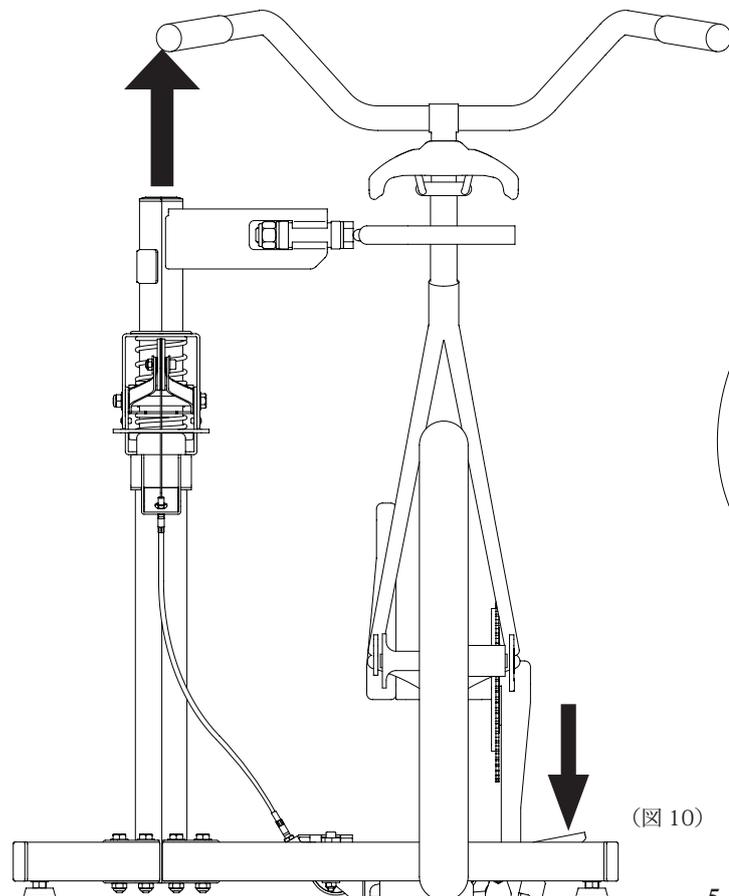
- 3** フットペダルを踏み込み上支柱を少し持ち上げます。

U字フックがサドルの裏面に接し、簡単には自転車が脱落してこないようしっかりと支えていることを確認します。



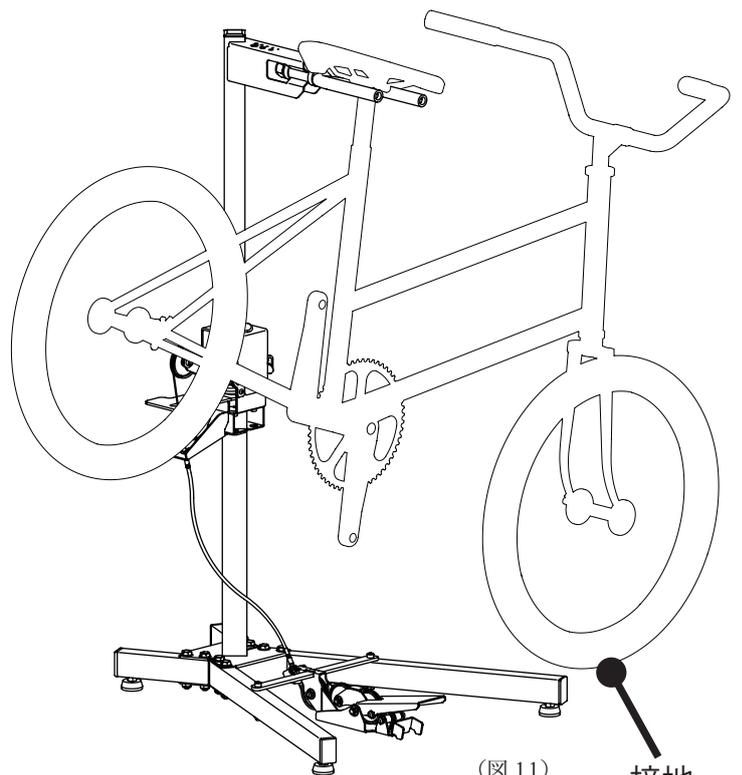
(図9)

- 4** そのまま自転車が好みの高さになるまでペダルを踏み続けます。(図10)



(図10)

**!** ERS-1では必ず前輪が床に接した状態にしかありません。ペダルを踏んでいくと後輪だけが上がっていく姿勢になります。(図11)



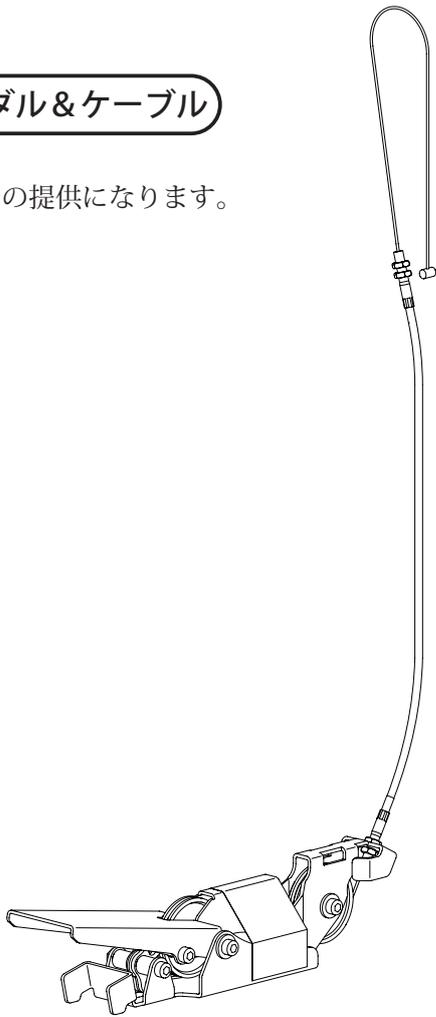
(図11)

接地

## 補修品

### フットペダル&ケーブル

セットのみでの提供になります。



### フックパッド

2本セットです。

